

カモ目カモ科



コハクチョウ



ヒドリガモ(♂)



マガモ(♂)



オナガガモ(♂)



コガモ(♂)

見られそうな野鳥



カイツブリ科：  
カイツブリ



カイツブリ科：  
カンムリカイツブリ



ウ科：カワウ



サギ科：  
ダイサギ



クイナ科：  
オオバン



タカ科：トビ



キツツキ科：  
アカゲラ



モズ科：モズ



カラス科：  
ハシボソガラス



カラス科  
ハシフトガラス



シジュウカラ科：  
シジュウカラ



ヒヨドリ科：  
ヒヨドリ



エナガ科：  
エナガ



ヒタキ科：  
ツグミ



アトリ科：  
シメ

今回、私が気になったこと！



キツツキの名前についてです。  
図鑑を見ると“キツツキ”という名前の野鳥はいないです。

左の写真は「コゲラ」という野鳥になります。

～コゲラ情報～

鳥屋野湯では一年中見ることができます。オスとメスの見分け方は、オスの後頭部の左右に赤い羽毛があることです。ただし、普段は他の羽毛に覆われているため見えないことが多いです。

で、何が気になったのか…名前の由来です！

(読まなくてもOK→なんでキツツキ目キツツキ科って言うのに種名には〇〇キツツキとかでなく“ケラ”とついているのか、しかもコゲラはカタカナで3文字なのに、漢字すると「小啄木鳥」で4文字じゃん、字数増えちゃってるよ、とか考えたら気になってしまった結果です。)

まず、キツツキの文字から…漢字にすると「啄木鳥」です。

啄は訓読みで「ついで(む)」。ついでむ/鳥がくちばしでつつくという意味があります。漢字を分解して考えると、野鳥のイメージ通りになります。また漢字検索してみると啄木鳥と書いてケラと読むこともありました。

では、コゲラやアカゲラ、アオゲラ等の種名についての、ケラとは何？

昔はテラツツキと呼ばれていたものが、ケラツツキと変わり、さらに縮まって「ケラ」になったそうです。ちなみに、テラは「取る」の意味があり虫を取ることを表します。こちらも野鳥のイメージにあっていますね。

(※参考書籍「野鳥の図鑑 陸の鳥②」HOIKUSHA 保育社)

木をくちばしでつついて虫を取る野鳥だから総称でキツツキと言うことも、種名にケラが付くことも、どちらも何となく納得できますね。ただ〇〇キツツキとかでなくケラが種名についてるのかまではわかりませんでした…

今の時期は、コゲラ(小啄木鳥)、アカゲラ(赤啄木鳥)、アオゲラ(緑啄木鳥)の3種類が鳥屋野湯で見られます。また渡りの時期だとアリスイ(蟻吸)も見られるかもしれません。



アリスイ



コゲラ



アカゲラ



アオゲラ

※アリスイ(蟻吸)…長い舌でアリを吸い取るように食べることが名前の由来。

※アオゲラ(緑啄木鳥)…昔、緑色をアオと言っていた名残。信号も緑色なのに青信号というのと同じ。

キジ目

キジ科

1 キジ

カモ目

カモ科

2 コハクチョウ

3 ヒドリガモ

4 マガモ

5 カルガモ

6 コガモ

7 ミコアイサ

ハト目

ハト科

8 キジバト

ペリカン目

ウ科

9 カワウ

ツル目

クイナ科

10 オオバン

スズメ目

モズ科

11 モズ

カラス科

12 ハシボソガラス

13 ハシフトガラス

クイタダキ科

14 キクイタダキ

シジュウカラ科

15 ヤマガラ

16 シジュウカラ

ヒヨドリ科

17 ヒヨドリ

ムクドリ科

18 ムクドリ

ヒタキ科

19 シロハラ

20 ツグミ

アトリ科

21 アトリ

22 シメ

天気：晴れ 風：ほぼ無

気温：開始時 0.5℃/終了時 4.6℃

湿度：開始時 94%/終了時 69%